



明木公民館だより

《平成25年9月号》

発行・編集/明木公民館 ☎0838-55-0001

今年の敬老会は9月16日(日) 午前10時30分からマルチメディアセンターで開催!

敬老の日にちなみ、全国各地で開催される敬老会。そもそも「敬老の日」はいつ、どのようにして定められ、また、なぜ9月15日なのでしょう。

調べてみると、「敬老の日」は、1947年(昭和22年)、兵庫県多可郡野間谷村(現在は多可町八千代区)が提唱した「としよりの日」が始まりでした。野間谷村では「老人を大切にし、年寄りの知恵を借りて村作りをしよう」と、農閑期で気候の良い9月中旬の15日を「としよりの日」と定め、敬老会を開いていました。これが1950年(昭和25年)から兵庫県全体で行われるようになり、全国に広がっていきました。

その後「としより」という表現は好ましくないということで、1964年(昭和39年)に「老人の日」と改称されました。そして、その翌年には、「こどもの日」「成人の日」のように「敬老の日」の制定を望む声が野間谷村から上がり、国への繰り返しの働きかけもあって、国民の祝日「敬老の日」が制定されたのです。

9月15日については「聖徳太子が四天王寺に悲田院を建立した日」や「欽明天皇が養老の滝に御幸した日」等の俗説もあるのですが、真偽のほどは定かではありません。いずれにしても、敬老の日は「多年にわたり社会につくしてきた老人を敬愛し、長寿を祝う日」として定められたもの。高齢者を敬い長寿を祝う日であるとともに、高齢者の福祉について関心を深め、高齢者の生活向上に努めるよう若い世代に促すという気持ちも込められているそうです。(参考: Wikipedia)

10月の お・楽・し・み

公民館で歌おう! パート2 3日(木) 10:00~12:00

旭マルチメディアセンター2階 参加料: 100円

今年の5月21日に笛吹サロンが主催して、旭マルチメディアセンターの2階ホールのピアノに合わせて童謡を歌った「公民館で歌おう!」の第2弾!!

参加者の「また、やってえー」の熱烈ラブコールに応えて、今回は笛吹サロン&牛地サロンが連携して開催します。童謡をはじめ、「上を向いて歩こう」「知床旅情」など10曲をピアノの伴奏に合わせて歌ったり、おしゃべりしたり、お茶したり・・・。

どなたでも参加できますが、準備の都合がありますので、9月30日(月)までに55-0230(竹内)又は55-0356(西村)へ連絡してください。当日の飛び込み参加も**大歓迎** (o^.^o)



決定! 第54回明木地区体力づくり大運動会

13日(日) 9:00~12:45 明木小学校運動場

明木の秋といえばコレ! 今年も3組対抗で体力づくり運動会のプログラム等が決定しました。

現在、分館長・体育推進委員さんに参加者の取りまとめをお願いしていますので、ご近所お誘い合わせの上、ふるってご参加ください。ラジオ体操から組対抗韋駄天リレーまでの10種目、一緒に楽しみ、いい汗を流しましょう!

あさひ保育園の園児たちのかわいい演技も楽しみですね。



彦六・又十郎四百年祭について

11月30日（土）に旭マルチメディアセンターで開催される「彦六・又十郎四百年祭」について、地区内外から公民館にお問い合わせがありました。



質問の多かった「ベスト5」をご紹介します。

質問1 彦六・又十郎は、名字が彦六で名前が又十郎という1人の男性？

説明：**古泉城の彦六、菅蓋の又十郎**という2人の若者です。

質問2 彦六・又十郎は、何をした人？

説明：400年前、萩城築城の時に大きな働きがあったとして殿様から「ほうびをやろう」と言われた2人は、明木の里人を苦しめる口屋銭（くちやせん=通行税）の免除を願い出ました。**私利私欲に走ることなく、里人を思いやる若者**の心に感動した殿様は2人の願いをかなえ、里人は大変しあわせました。

質問3 彦六・又十郎四百年祭の主催は萩市？

説明：彦六・又十郎伝保存会の中の「彦六・又十郎四百年祭実行委員会」が主催し、萩市は後援しています。

質問4 萩市が実行委員会に補助金100万円を交付したのは本当？

説明：彦六・又十郎伝保存会は萩市を通じて、**(財)地域社会振興財団が募集した「長寿社会づくりソフト事業」に「彦六・又十郎四百年祭」で応募し、採択されました。**必要経費として認められた100万円は、財団の方針で「間接補助」といわれる形をとるため、**財団から一旦萩市に入り、萩市から彦六・又十郎伝保存会に交付**されます。

質問5 補助金の100万円で何をしますの？

説明：11月30日の「彦六・又十郎四百年祭」では、**紙芝居・講演会・リレートーク・剣舞・ふれあいコンサート**が実施されますが、100万円は**これらの経費のうち財団が認めたもののみ**に充てることができます。スタッフの飲食はもちろんのこと、講師や出演者の茶菓代・食事代等々は彦六・又十郎伝保存会が負担します。

なお、保存会は、県内の大学生が地域活動を支援する「中山間地域元気創出相応支援事業（集落支援事業）」にもエントリー。県立大学生5人（女性2人・男性3人）がポスター等の作成や地区内の説明板の修理をはじめ、当日はスタッフとして参加する予定です。

